

平成19年度 決算の概要

一般会計決算

問い合わせ先 財政課 32 - 2020

特徴

- ◆歳出決算規模2.7%増
- ◆税源移譲により税収が7.5%増収となるが、所得譲与税の廃止、地方交付税の減額により一般財源総額は減少
- ◆財政調整基金10億9,000万円の取り崩しにより財源不足に対応

投資及び出資金
2億2,515万円(0.5%)
市が行政活動を行う上で必要な団体へ出資したお金

積立金
10億1,489万円(2.3%)
地域づくり基金など基金へ積み立てたお金

貸付金
1億443万円(0.2%)
民間団体などに対して必要な資金として貸し付けたお金

繰出金
51億8,980万円(11.6%)
国民健康保険や下水道事業などの特別会計へ繰り出したお金

人件費
82億7,285万円(18.5%)
職員や特別職の給与、議員・各種委員会委員の報酬などに使ったお金

物件費
44億4,515万円(10.0%)
業務委託料や使用料など物財調達に使ったお金

維持補修費
5億6,196万円(1.3%)
市の施設などの補修に使ったお金

公債費
66億6,687万円(14.9%)
道路や公共施設などの整備のため借り入れた市債の返済に充てるお金

歳出

決算額
446億1,809万円

普通建設費
60億9,123万円(13.7%)
道路や橋、学校、公園などの建設・整備に使ったお金

扶助費
70億316万円(15.7%)
生活保護費や児童手当、医療費などに使ったお金

補助費等
46億6,464万円(10.5%)
各事業や団体への補助金や負担金に使ったお金

災害復旧費
3億7,796万円(0.8%)
大雨などによる農林災害・土木災害の復旧に使ったお金

県支出金 32億1,052万円(7.1%)
県が認めた特定の事務事業の実施にあたって県から交付されるお金

国庫支出金
40億5,704万円(8.9%)
国が認めた特定の事務事業の実施にあたって国から交付されるお金

地方交付税
110億529万円(24.2%)
全国の自治体が同水準の行政を進められるよう、財政運営の均衡を取るために国から交付されるお金

利子割交付金ほか 16億3,685万円(3.6%)
県が徴収した利子に掛かる税金の中から交付されるお金

地方譲与税 6億4,517万円(1.4%)
国が徴収した税金から一定の基準に従い譲与されるお金

市債
60億2,499万円(13.3%)
国や金融機関などから借り入れるお金

歳入

決算額
454億4,583万円

市民税 60億4,249万円

固定資産税 61億9,292万円

軽自動車税 2億6,617万円

市たばこ税 7億6,303万円

特別土地保有税 121万円

入湯税 12万円

都市計画税 7億3,504万円

分担金及び負担金

8億7,762万円(1.9%)
市が行う事業で特定の利益を受ける人などから徴収するお金

使用料及び手数料

7億5,187万円(1.7%)
市の施設使用料や住民票、各種証明書などの交付手数料

繰越金 6億5,537万円(1.4%)
前年度から今年度に持ち越したお金

諸収入ほか 25億8,013万円(5.7%)
どの費目にも含まれない他の収入

目的別歳出

区分	支出済額	構成比
議会費	3億9,087万円	0.9%
総務費	54億1,441万円	12.1%
民生費	112億6,900万円	25.3%
衛生費	41億3,210万円	9.3%
労働費	1億9,477万円	0.4%
農林水産業費	18億1,274万円	4.1%
商工費	6億9,124万円	1.5%
土木費	60億8,406万円	13.6%
消防費	17億2,796万円	3.9%
教育費	55億5,694万円	12.5%
災害復旧費	3億7,796万円	0.8%
公債費	66億5,501万円	14.9%
諸支出金	3億1,103万円	0.7%

市民1人当たり

歳出
約41万円

(平成19年度末の人口を基に計算)

歳出
◆定員適正化の取り組みにより、人件費は3億3,478万円(3.9%)の減
◆行革効果などにより、物件費は1億4,166万円(3.1%)の減
◆戸島学校食育センター建設、新洋学資料館建設、勝北統合保育所建設などの大規模事業により、普通建設事業費は4億6,980万円(8.4%)の増

歳入
◆税源移譲により、市税は前年度に比べ9億8,081万円(7.5%)増収。徴収率は前年度の91.1%から91.9%に上昇
◆税源移譲に伴う所得譲与税の廃止(前年度7億6,300万円)、地方特例交付金2億2,086万円(69.6%)減額、地方交付税1億7,566万円(1.6%)減額などにより、市税の増収にかかわらず一般財源総額は減少
◆財源不足に対応するため、財政調整基金10億9,000万円を取り崩し

一般会計決算概況
平成19年度一般会計決算規模は、歳入が454億4,583万円(前年度比1.7%増)、歳出が446億1,809万円(前年度比2.7%増)となりました。歳入と歳出の差は8億2,774万円となり、翌年度への繰り越し財源544,300万円を控除した実質収支は、7億7,331万円の赤字となっています。